

ゲージブロック使用上の注意

1. 使用上のご注意

ご使用にあたっては「ゲージブロックの測定面」にキズが付かないようにご注意下さい。打ち傷・すり傷及び錆が発生した場合は、精度に影響するのみでなく、密着（リキング）作業によって、相手のゲージブロックにキズをつける原因となります。キズが付きにくい作業方法とは

- (1) ゲージブロック同士を当てないこと。同じ硬さどうしのもは、硬くてもキズが入りやすく、特に注意が必要です。
- (2) 測定面の接触する部分から砥粒の様な硬いじん埃を除去する
- (3) 測定面を清拭きし、じん埃を除去する
- (4) 密着作業で、測定面同士を接触するときはカエリの無いことを確認(または除去)して行う
- (5) ゲージブロックを密着するときは互いの測定面にカエリの無いことを確認し、カエリのある時は砥石にてカエリ取り作業をして下さい(カエリを完全に除去することは困難ですので、キズをつけないことが大事です)
- (6) 使用後は錆びないよう、防錆処理をして下さい。

2. 手入れセット

当社では「ゲージブロック手入れセット（コード No.516-650）」を販売しております。

セットの内容とその用途はカタログを参照下さい。

3. ゲージブロックの洗浄

防錆油や指紋等の汚れを除去するために洗浄が必要となります。多くの洗浄剤が市販されていますが、安全性および洗浄能力を考慮して選択下さい。洗浄や面拭きの後に「シミ」や「水分」が残らず、作業性を考慮することも必要です。当社の工場では洗浄液として「ノルマルヘプタン」を使用しております。

ノルマルヘプタンの性状

- (1) 消防法 第4類 第一石油類（引火点 -4°C 発火点 約 230°C ）
- (2) 高濃度では麻酔作用あり

シンナー、ベンジンより人体に対する有害性は少ないが、室内で使用する場合は高濃度にならないよう換気等に配慮し、また目や口に入れることのないようご注意ください。

4. 測定面のチェック（オプチカルフラットによるカエリのチェック）

カタログの「精密測定機器の計測用語の豆知識」を参照下さい

5. カエリ取り

測定面にカエリ（突起）のある時は専用のカエリ取り砥石にて除去します。

カエリ取り砥石は「硬くて細かい、平面のた」専用砥石「セラストン」をご使用下さい。他の砥石では寸法の変化やキズが発生する恐れがあります。「セラストン」は平面と粗さを小さくするためにラップ仕上げを行っております。砥石の面から完全にラップ剤を取り除くことは困難です。そのため細かなスリキズが入ることがありますが、寸法が変化することはありません。ささいなスリキズでも避けたい場合は「不要なゲージブロック」の様なもので砥石の目つぶしを行ってください。

カエリ取りの手順についてはカタログの「精密測定機器の計測用語の豆知識」を参照下さい

6. ゲージブロックの防錆処理

使用後は防錆処理を実施の上、保管下さい。

防錆処理の手順

- (1) 洗浄液を使用して「汚れ」を除去します。特に指紋は丁寧に拭き取ってください。
- (2) 防錆油を塗布します。

当社では防錆油として「モリコート スーパーグリス（ダウ コーニングア

ジア株式会社) 」を使用しております。

モリコート スーパーグリスの性状

- (1) 液体の場合: 消防法 第4類 第二石油類 (引火点 64°C 発火点 データなし)
エアゾールの場合: 引火点 -104°C 発火点 405°C以上
- (2) 蒸気を吸引した場合麻酔作用あり

室内で使用する場合は高濃度にならないよう換気等に配慮し、また目や口に入れることのないようご注意ください。エアゾールの場合は火気に向けて噴射しないで下さい。

防錆効果は保管状況によって異なります。長期間、使用されない場合でも定期的に点検し、防錆処理が十分になされていることをご確認下さい。